

第2学年3組 算数科学習指導案

場所 2年3組教室

1 単元 九九のきまり (本時6 / 8)

2 本時の目標

(1) 九九のきまりや計算の仕方を理解し、九九にないかけ算の答えを求めることができる。

(知識・技能)

(2) 九九にないかけ算の答えを、既習の九九やたし算を活用して考えたり説明したりすることができる。

(思考・判断・表現)

3 課題を追究するための手だて

・かける数とかけられる数の関係に気づくことができるように、かける数が12までの表を用意する。

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (4)	1 問題と提示された絵から課題を把握する。 ・りんごが4個ずつ増えている。 ・4個の12個分だから 4×12 になりそう。	・4個のいくつ分がわかるように、りんごの絵を4個ずつ黒板に貼る。 ・ 4×9 までの表を提示し、答えが4個ずつ増えていることを確認する。
課題 (1)	九九にないかけ算の答えのもとめ方を考えよう	
展開 (35)	3 個人追究をする。 ・4個ずつ増えていけばできそうです。 ・かける数が1増えると、答えはかけられる数だけ増える。 ・9と3のかたまりに分けたらできそうです。 4 全体共有をする。 ・答えが4個ずつ増えているから $4 \times 10 = 40$ 、 $4 \times 11 = 44$ 、 $4 \times 12 = 48$ になります。 ・ 4×9 と 4×3 の答えをたして48になりました。 5 適用問題を解く。 ・かける数とかけられる数を見たら問題が簡単に解ける。	・ <u>かける数とかけられる数の関係に気づくことができるように、4×8から4×12までの表を配布し、直接書き込むように伝える。</u> ・机間指導し、図や式を使って説明できている児童を称賛する。 ・全員が考え方をもつことができるように、隣同士で考え方を伝えるように指示をする。 ・かけ算の意味をもとにして説明できている児童を意図的に指名する。 ・表に書き込むことができた児童には、考え方を言葉でノートに書くように指示をする。
整理 (5)	6 本時の学習の振り返りをする。 ・かける数が1増えると、答えがかけられる数だけ増えることがわかった。	・2、3人の振り返りを紹介し、かける数と答えの関係に気づくことができた児童を称賛する。

5 評価

(1) 九九を広げて、九九にないかけ算の答えを求めている。

(活動3、4、5の様子から)

(2) 九九の構成の仕方をもとに、乗数と積の関係を使って考えたり説明したりしている。

(活動3、4、5の様子から)